ありがとうございました

平成25年度 賛助会員名簿（敬称略）

［個人会員］

青木朗子
青木寿文
青木成晃
青木真由美
秋山政人
明田川二郎
安宅龍一郎
安達祐司
阿部誠
阿部久司
阿部博史
阿部昌洋
阿保晴奈
荒川正昭
飯田敦子
飯浜宏
井浦佐敏
五十嵐茂義
五十嵐大介
五十嵐智理
井口計夫
池野弘泰
石井法子
石川久雄
石口真紀子
石澤成実
磯部澄枝
板谷幸仁
市川健太郎
伊藤隆
伊藤浩
伊藤和彦
伊藤善一
伊藤千恵子
井上正一
井上陽子
今井昭雄
今井智子
岩尾秀海
岩佐正
岩崎静代
殷熙康
ウエダエリコ
ウエダジュン
上原伸
薄田芳丸
内山政二
内海治郎
江口孝雄
大崎直樹
大澤源吾
大関忍
太田隆
太田昭子
大塚正樹
大場勲
大原峰夫
大矢佳美
岡玲子
岡田靖
小形雅子
岡田義信
岡村秀康
沖田慶子
小熊美智子
落合大輔
小野勝幸
小野茂樹
小幡明博
尾身裕
折原直樹
恩田昇治
笠井悠矢
笠原至
風間順一郎
片桐憲治
勝井豊
加藤千栄子
加藤花恵
金井克博
金井秀樹
金子未央
金子よう子
樺澤禮子
神蔵勝雄
鴨居桂子
川崎昭一
カワハラミカコ
岸田興治
木村淳
久我三栄
草間達雄
鯨岡克法
久住由祐
国井亮祐
熊木亮太
熊倉光
熊倉眞
倉島瞬
黒崎裕人
桑原和文
下條文武
小出碧
甲田豊
小坂正一
小島美代子
児玉省二
後藤一安
小林勲
小林進一朗
小林正春
小林義則
小林麗子
小樋山雅実
権平範子
近藤晋
西條康夫
斉藤啓行
斎藤恒利
酒井一夫
坂井宏子
坂上りい子
酒巻健一
酒巻裕一
坂本秀雄
佐久間栄子
笹川力
笹川弘幸
笹川康夫
佐々木智絵
佐藤進
佐藤望
佐藤一明
佐藤恵子
佐藤賢治
佐藤淳子
佐藤希未佳
佐藤まゆみ
佐藤泰子
佐藤幸示
佐野久和
志田丘
篠川智
島津智子
清水浩
清水満紀
白石高歳
白砂城芳
神保和男
新保信夫
須貝欽也
杉坂芳文
杉本智子
鈴木昭
鈴木茂
鈴木一恵
鈴木孝幸
鈴木麻依
鈴木美祐
須藤祐悦
清田義和
清野晴美
清野佐緒
清野祐子
関剛
関芳美
関根昭一
関本真弓
関谷啓太郎
早津正文
相馬幸恵
曽根博仁
園田裕久
田井英子
高井昭三
高木顕
高野春美
高野竜昇
高橋公太
高橋功
高橋剛
高橋瞳
高橋亮
高橋一輝
高橋完明
高橋宜大
高橋恒雄
高橋知義
高橋史明
高橋美穂
高橋保夫
高橋喜子
高原稔
高宮治生
瀧下麻紀子
武正義
武石敏秀
武田廣盛
武田真紀子
竹山希
田沢博
田尻正記
田中勝治
田中新一郎
棚橋成一
玉井章広
田村芳昭
塚原康夫
戸井田一美
戸井田竜成
外川八洲雄
富井美千
富田雅樹
外山貢
富山順子
内藤晴子
永井博子
中枝智子
永桶靖
長尾政之助
中川邦夫
中川圭子
中川法子
長久保伸幸
長沢京子
中島志保
永瀬吉彦
長東克哉
中野誠
中村章
中村勉
中村永大
中村美穂子
中山映子
納谷裕
成澤林太郎
成田一衛
難波彰司
難波秀道
西村義孝
新田公子
根津徳久
野崎愛
野沢行男
野村準雄
野本聡子
羽賀孝英
萩原直美
長谷川靖
長谷川恵一
畠山彩子
波多野友己
羽田野正夫
初野弥一
羽入修吾
羽入まり子
馬場禎幸
林悠子
速水梅子
原大和
東后康子
平田孝栄
広川和郎
笛田孝明
深川光俊
福地健郎
藤島淳
藤巻幹夫
古海英美子
帆苅久美
星野京子
堀川紘三
本間智子
本間祐美子
本間義章
真島和徳
増子繁行
町野美保
松浦直人
松田英伸
松田晃
松田花織
丸山仁
丸山優美
三浦智子
光永喜衛
水戸部英子
峯田和彦
宮下晴美
宮村美樹
武藤謙介
宗像利幸
村上ありさ
森下英夫
森田裕里
森平仁
森脇千恵美
諸本訓子
矢田省吾
柳原俊雄
山賀栄市
山川まゆみ
山口あや子
山口真希
山崎肇
山田洋子
山野寺千尋
山本英二
山本純治
山本正男
横山美穂
吉沢浩志
吉田和清
吉田法子
吉田良子
六井庸一
若月翔太
和田彰彦
渡辺勲
渡辺武
渡辺透
渡辺勝
渡辺和子
渡辺和伸
渡辺和仁
渡辺彩子
渡邉潮美
渡辺菜緒子
渡辺直純
渡邉二夫
渡邉守朗
渡辺洋二郎
（匿名３名）

［法人会員／医療機関］

青池メディカルオフィス
糸魚川総合病院
今井眼科医院
魚沼病院
越南会
江部医院
大熊内科医院
大森内科医院
小千谷さくら病院
下越病院
柏崎総合医療センター
亀田第一病院
かもしか病院
苅部医院
木島医院
喜多町診療所
木戸病院
くろきクリニック
けいなん総合病院
小出耳鼻咽喉科
甲田内科クリニック
国立西新潟中央病院
小林内科医院
こんの脳神経クリニック
斎藤内科・消化器科医院
三条眼科
山東第二医院
三島病院
三之町病院
上越総合病院
白根さいとう眼科
信楽園病院
信楽園病院付属有明診療所
水原郷病院
好生堂医院
すどう小児クリニック
すなやまクリニック
竹内病院
立川メディカルセンター
戸井田内科医院
富永草野病院
豊栄病院
長岡中央綜合病院
中条病院
中山内科クリニック
南部郷厚生病院
南部郷総合病院
新潟医療センター
新潟県済生会三条病院
新潟厚生連佐渡総合病院
新潟厚生連瀬波病院
新潟大学大学院　腎泌尿器病態学分野
新潟中央病院
新潟南病院
新潟臨港病院
新潟労災病院
新津産婦人科クリニック
長岡赤十字病院
野々村眼科医院
羽茂病院
早川小児科クリニック
舞平クリニック
真木山医院
松田眼科医院
ミミール耳鼻咽喉科クリニック
村上記念病院
村上総合病院
明元堂眼科医院
山本医院
ロイヤルハートクリニック
わたなべこどもクリニック
渡辺内科医院

［法人会員／企業・団体］

(公財)新潟県栄養士会
(社)健康医学予防協会
(社)新潟県臨床検査技師会
新潟県厚生農業協同組合連合会
糸魚川市医師会
糸魚川病院腎友会
大森八千代会
柏崎薬剤師会
株式会社アド・メディック
株式会社志賀医科器械店
株式会社メディス
刈羽ライオンズクラブ
川西にいがたライオンズクラブ
県央薬剤師会
三条南ロータリークラブ
新発田北蒲原医師会
白根健生ひまわり会
新潟県腎臓病患者友の会
水原ロータリークラブ
聖籠ライオンズクラブ
直江津ロータリークラブ
長岡蒼紫ライオンズクラブ
ながおか医療生活協同組合
長岡柏ライオンズクラブ
長岡市薬剤師会
長岡悠久ライオンズクラブ
長岡ライオンズクラブ
中里にいがたライオンズクラブ
新潟医療技術専門学校
新潟医療福祉大学
新潟大野ライオンズクラブ
新潟県医薬品配置協議会
新潟県介護老人保健施設協会
新潟県看護協会
新潟県歯科医師会
新潟県接骨師会
新潟県病院協会
新潟県薬剤師会
新潟県薬事工業会
新潟県労働衛生医学協会
新潟市医師会
新潟市薬剤師会
新潟信用金庫
新潟青陵大学
富士タクシー株式会社
源川医科器械株式会社
南魚沼郡市医師会
南魚沼腎友会
湯沢ライオンズクラブ

［寄付金］

笹川力、新潟県眼科医会、横山和彦、恩田隆介、燕労災病院花みずきの会
小千谷ライオンズクラブ、中外製薬、新潟県ライオンズ・アイバンク協議会
ほか

個人会員	344人	計	748,000円
法人会員（医療機関）	75団体	計	1,052,000円
法人会員（企業・団体）	49団体	計	520,000円
寄付金（企業・団体・個人・募金箱）		計	466,488円

賛助会員の皆様、寄付者の皆様には誌上をもって感謝申し上げます。

Relay for you
―臓器移植はあなたの意思をつなぎます―

11号

新潟県臓器移植推進財団だより

平成26年10月発行　公益財団法人 新潟県臓器移植推進財団
ホームページ　http://www.niigata-ot.net

新潟市中央区新光町4番地1（新潟県福祉保健部健康対策課内）　TEL:025-283-4880　発行人:髙橋公太

公益法人に移行して

公益財団法人　新潟県臓器移植推進財団
理事長 髙橋公太

公益財団法人　新潟県臓器移植推進財団理事長の髙橋公太です。財団法人が国の方針により一般と公益の二つに分けられることになり、本財団は、公益財団法人を選びました。この発展的改正により新潟県民の臓器移植医療をより一層推進できることになりました。寄付行為も提供側に免税処置がとられることが可能になり寄付し易くなりましたので、宜しくお願い申し上げます。

私は、平成7年に新潟大学医学部泌尿器科学講座の教授に就任しました。それ以来、今日まで一貫して慢性腎臓病(CKD)治療、特に腎移植医療の普及に力を注いできました。その一方で、この治療は臓器の提供がなければ成り立たない医療でありますので、臓器提供推進活動(donor action: DA)に積極的に取り組んできました。

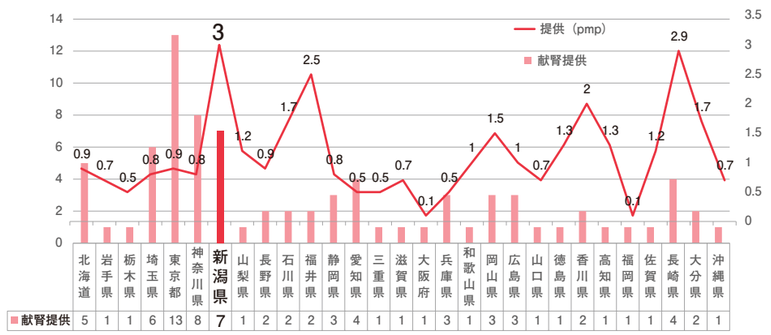
末期腎不全の有効な治療手段として透析療法と腎移植があげられますが、わが国では9割以上が透析療法に依存しています。欧米諸国の腎不全医療を見ると、6～7割が透析療法に依存していますが、残りの3～4割は腎移植が占めています。

また、腎移植においても欧米諸国では献腎移植が主流でありますが、わが国では生体腎移植が85%を占めており、わが国の腎不全対策が諸外国に比べてかなり偏重していることがわかります。欧米では、QOLが高く、医療経済的にも良好な腎移植医療に力を入れており、日常的にDAを積極的に進めています。

腎移植の健全な包括的治療とは、欧米諸国のように腎移植の占める割合を多くし、かつ献腎移植が主流にならなければいけません。現実にわが国では臓器提供が極めて少ないため、献腎移植が思うように普及していません。臓器移植の王道は、繰り返し強調しますが、あくまでも亡くなられた方からの臓器移植であります。

新潟大学医歯学総合病院では、献腎移植を普及させる目的で1997年からDAを開始しました。1999年には、厚生労働科学研究の一部支援を受け、移植医、県移植コーディネーター、県知事、新潟県福祉保健部、中核拠点病院、およびマスコミなど、官民一体となってDAに貢献してきました。

新潟県は2004年中越地震、2007年中越沖地震に見舞われ、この貴重な体験をもとに新潟大学医歯学総合病院に高次救命災害治療センターを設置し、救急車、ドクターヘリなど救急医療の充実を図りました。さらに2011年には国立大学法人では初めての移植医療支援センターを発足させました。その結果、新潟県では今までに8例の方が脳死下に臓器を提供していただいております。2013年には図のように県民100万人当たり3.0人(平均0.8人)であり、提供者数はわが国で第一位となっています。

今後も本財団は、県民のため臓器移植、および臓器提供推進活動に貢献したいと考えおりますので、皆様におかれましては、今まで以上のご支援をお願い申し上げます。

2013年、都道府県別献腎提供数と人口100万人当たりの提供数（1-12月）